# 健康とくらし

第267号　2019年3月

2018年12月末日現在
会員数10,627人
基金合計4億4000.7千円



発行責任者：渡邉　優
岐阜健康友の会
岐阜市北山1丁目13番11号
事務局／電話・FAX（058）244－3522
E-mail　tomonokai@gifu-min.gr.jp


みんなでつくった50年

## おかげさまで岐阜勤労者医療協会50周年

これからつくる新たな時代

さあ明日へつなげよう！

医療法人岐阜勤労者医療協会は、1969年7月に創立されました。

2019年は岐阜勤医協50周年にあたります。創立当時は、「人格なき社団岐阜健友会」という名称でした。当時の医学生、看護学生などの運動から、県内の医療関係者、諸団体、地域住民に民医連を求める動きが広がり、資金を出し合って1969年9月に華陽民主診療所を誕生させました。

岐阜勤医協理事会は、法人創立50周年を機に、地域、共同組織の皆さんとともにこれまでを振り返り、今後の私たちの果たすべき役割について考えていきたいと考えています。

理事会は、記念事業の目的を確認し、理事会のもとに「50周年記念事業委員会」をおき、創立記念事業を開催していきます。

### ＊文芸（作文・短歌・俳句・川柳）コンクール

◎「健康とくらし」（1月号）に応募チラシを同封し、友の会の皆さんにお知らせしました。

◎応募資格は、健康友の会の会員とその家族です。

◎作文の応募テーマは「私と（勤医協の事業所）」（「私とみどり病院」「私と華陽診療所」等）です。

短歌・俳句・川柳の応募テーマは「平和」「いのち」です。

◎各事業所にポスターを掲示し、応募箱を設置しました。はがき、専用用紙で応募ください。

募集締め切りは5月末です。どしどし応募ください。

### ＊50周年記念文化講演会

◎文芸コンクールの選者を「碓田のぼる氏（歌人、「いつでも元気」歌壇選者）」にお願いしました。

◎5月25日（土）午後、岐阜勤医協定期総会終了後、選者をお願いした碓田のぼる氏をお招きし、文化講演会を開催します。

### ＊みんなでワイワイ企画

◎バス旅行

「平和」をテーマに開催

①5月12日（日）　②5月18日（土）

「杉原千畝記念館」「長野県阿智村満蒙開拓平和記念館」、いちご狩り等のコース

◎親子農園

旧わらべ保育所園庭を農園にしていきます。皆さんの知恵と力をお貸しください。

◎健康マージャン

50周年記念大会を開催する方向で進めます。各地区予選も開催します。

### ＊華陽診療所開所50周年記念企画

◎華陽診療所は今年9月7日で開所50周年を迎えます。患者さん、友の会、地域の方々とともにお祝いするために華陽診療所を会場に企画を検討中です。9月か10月に予定します。

### ＊記念誌の発行

◎華陽診療所建設当時のお話は30周年記念誌に座談会形式でまとめられていますので、50周年記念誌では、みどり診療所建設当時のお話を伺うために座談会を計画しています。

◎今後の発展を担う職員の座談会を計画しています。

◎現在のすべての事業所（職場）を紹介できる構成とします。

◎50年を通した年表をまとめます。

### ＊岐阜勤医協紹介パンフの作成

◎50年を簡単にまとめた内容で、患者さんや友の会員さんに対して、気軽に活用できるパンフレットを作成します。

---

友の会会員さんへ

## 一番知ってほしい情勢

2018年度から国民健康保険は、市町村単位から都道府県単位に変わりました。市町村で決められていた保険料と支払う医療費の適正化、保険料を徴収する権限と処理能力を強め未払いを少なくしようとするものです。2018年度は、激変緩和措置として多額の公費が投入されたため、殆どの自治体で保険料は2017年度水準維持か、引き下げになりました。これは、制度改革に伴う異論が出ないようにするためのものです。しかし、国民健康保険料への補填となる激変緩和措置がなくなることや法定外繰入額の削減が実施されることになると保険料は上がっていくことになります。安くなったからといって、安心はしていられないのです。

2018年度は、医療と介護に係る報酬が同時に改定されました。医療に関しては、報酬がアップした分の自己負担や入院給食費の自己負担が毎食100円（月額約9,000円）増えました。70歳以上の医療費自己負担上限額の引き上げで、高額療養費（一定額以上は払戻しされる）は、年収370万円以上は所得によって限度額が変えられました。年収370万円以上で一か月の外来医療費個人毎に57,600円以上だったものが世帯で80,100円以上となりました。更に、75歳以上の後期高齢者の自己負担を1割から2割にしようとしています。介護に関しては、介護保険サービス利用時の自己負担は、1割負担か2割負担でしたが、夫婦世帯で年収463万円（単身世帯で年収340万円）以上では3割に増えました。

国の政策は、2012年度約260兆円から2017年度約430兆円と内部留保を大幅に増やしている大企業からしっかり税金を徴収して国政を運営するのではなく、消費税を始めとした個人負担を増やすやり方を推し進めています。2019年1月から始まった国際観光旅客税や2024年度から導入される森林環境税などさらなる個人負担が待ち構えています。

私たちは、憲法25条が活かされる政策を願ってこれからの統一地方選挙や参議院選挙で意思表示をしていきましょう。

（岐阜県連事務局長　山田二郎）

---

### 健康春秋

今年は岐阜民医連創立五〇周年になります。それを記念して文芸コンクールの募集がはじまっています。また、5月には、短歌の選者の碓田のぼる氏の講演会も企画されています▲今年九〇歳の碓田氏とは、以前に短歌投稿でお世話になったことがありました。といっても、今から四五年も前のことです。学生時代、民青新聞の短歌欄に投稿をはじめて、まず最初に見るのはこの短歌欄で、私の作品が載っていないか、毎回確認するのが楽しみでした。その時の選者の方が碓田さんでした。▲ただし、私は横着にも一度にかなりの作品を送り付けていました。それでも、そのうち民青新聞主催の文芸コンクールがあり、入選二回、佳作一回の成績で、当時学生にはありがたい賞金を頂いた記憶があります▲このことを、もし碓田氏の記憶の中に残っているとすれば、私はまず、その時の横着な投稿者であったことを謝る必要があるようです。短歌を投稿するきっかけは石川啄木でした。高校時代から興味をもって読み、それをまねして作りはじめていました▲そして碓田氏は石川啄木の研究家で著名であり、最近でも「連帯すれば勝つ、と啄木はいう」という著書のなかで、石川啄木と、幸徳秋水らがひどい冤罪で処刑された大逆事件とのあたらしい見解を発表されています▲碓田氏の人生もまたかなり波乱のあるものでした。悪政に対する戦いのなかで培われてきた歌人でもあります▲明治青年であった石川啄木が、病苦と貧困にも負けず明日への希望を失うことがなかったのは何故か、碓田氏の講演に期待したいと思います。（K）